

令和8年3月19日

ふじみ野市議会議員 加藤恵一 様

ふじみ野市議会 自由清進の会
代表 原田雄一

令和7年度自由清進の会視察報告

- | | |
|--------|----------------------|
| 1 期日及び | 令和8年1月21日 大阪府高槻市 |
| 視 察 先 | 令和8年1月22日 京都府京田辺市 |
| 2 参加議員 | 原田雄一、鈴木啓太郎、坪田敏孝、小林久美 |
| 3 視察概要 | 下記のとおり |

記

(1) 大阪府高槻市

視察テーマ1 高槻市立就学前児童施設の在り方に関する基本方針とその取組

①視察目的

利用需要変化に基づく公立の保育所・幼稚園の認定こども園化及び民営化の事例を視察し、行政のサービスと資産管理の適正化について学ぶ。

②視察内容

(課題)

平成27年当時、就学前児童施設の課題として、以下の6点が挙げられていた。

- ・増大する保育需要への対応
- ・公立幼稚園の定員割れ、適切な集団規模の課題
- ・就学前児童人口の減少、今後の見通しも減少傾向
- ・地域型保育事業利用者の3歳児の受入枠の確保
- ・公立施設の老朽化への対応
- ・高槻市公共施設等総合管理計画との整合

(子ども・子育て会議の答申)

子ども・子育て会議にいくつかの諮問を行い(平成28年1月18日)、答申を得た(平成28年4月25日)。答申の概要は以下のとおり。

- ・公立幼稚園、保育所の認定こども園へ移行
- ・幼稚園の3年保育は、現在の公立幼稚園、保育所の認定こども園移行後に実施
- ・園区制の廃止は、公立幼稚園の認定こども園移行後に実施
- ・公民館の役割分担の明確化については、民間施設については、主要な担い手に。公立施設は、地域の核として小学校や民間就学前児童施設などの連携等、コーディネーター役に。教育・保育の質の向上に一層取組を
- ・施設再配置については、公立施設の認定こども園移行後、適切な施設数を再配置(高槻市立就学前児童施設の在り方に関する基本方針の策定)

平成 28 年 9 月に高槻市立就学前児童施設の在り方に関する基本方針を 策定した。以下の4つの柱がある。

- ・公立施設の認定こども園への移行と1号認定子どもの3年保育の実施
- ・公立施設を地域の核として整理・集約
- ・民間の積極的な活用
- ・教育・保育の一体的提供及び教育・保育の推進に関する体制の確保
(認定こども園配置計画の実施)

認定こども園配置計画(平成30年度～令和2年度、令和3年度～7年度)の実施を通じて、以下の措置を行った。

- ・公立幼稚園の園区制廃止
- ・高槻子ども未来館の開設
- ・公立施設の整理と認定こども園化(民営化)
- ・富田保育所の耐震化、認定こども園化、民営化
- ・13 施設ある公立認定こども園・保育所で、地域型保育事業所の卒園児を優先受入れ
- ・各区域(全6区域)に核となる認定こども園を1か所設置

※民営化前後に合同保育、引継ぎ保育を実施。

※子ども未来館には、認定こども園のほか、病児保育など多様な保育機能(子ども保健センター)、人材育成機能(研究・研修施設)が設けられた。

認定こども園配置計画(令和 7 年度～11 年度)では、以下の措置を行っている。

- ・富田認定こども園の民営化により、事業費 5056 万円、人件費 4967 万円の削減(年)
- ・地域型保育事業職員を対象とした公開保育及び研修の実施
- ・公立幼稚園の認定こども園化、民営化
- ・地域型保育事業と公立施設の連携

(効果)

・一連の措置によって、コスト削減が図られる(人件費経費、9367 万円(年)減少)とともに、保育の受皿は増えている(215 人)。

・民営化にあたり、当初は、民間運営事業者に土地の売却を想定していたが、賃貸を希望する事業者が多いことから、その後、賃借での運営となっている。建物は無償譲渡している。

・施設の建替えに対しては、国・府補助金7億 7751 万円、土地売却収入 7億 6247 万円による財源を確保している。

・認定こども園化に伴い、「連続した教育・保育の提供」、「建替えが進む ことにより、老朽化、耐震化、駐車場確保などの課題を解消」、「英語、スイミング、運動指導など特色ある多様な取組」策がとられている。

・子ども未来館での取組、就学前教育・保育人材協議会の設置、救命救急、人権、衛生管理研修など、スキルアップ研修を実施、情報を共有

③所感

資料「就学前児童施設(幼稚園・保育所・認定こども園) 個別施設」(平成 30 年 12 月)がある。同資料は、「高槻市公共施設等総合管理計画」(平成 27 年 11 月)に基づいて作られたもので、各施

設の耐震基準の新旧、構造物の圧縮強度などのデータをまとめている。施設の統廃合、民営化の判断において必要な情報である。

同資料では、認定こども園配置計画(平成 30 年度～令和 2 年度)に基づく取組の結果、施設数、棟数及び延床面積へ与える影響を数値化しており、床面積は当初の約6分の1が減少としている。これも施設の統廃合、民営化の判断において必要な情報である。

子ども未来館での研修機能は、中核市規模が前提になるかもしれないが、理想的なものである。認定こども園配置計画(平成 30 年度～令和 2 年度)の実施過程での「市民の声」13点を次期計画(令和3年度～7年度)にて明示し、対応策を講じていることは評価できる。認定こども園の通園に送迎サービスを一部設けていることは、遠隔を理由とした入所保留を解消する措置であり、評価できる。

視察テーマ2 高槻市未来のための改革方針の成果について

高槻市は平成 29 年から「未来のための改革方針」に取り組んできた。この方針は、将来にわたって持続可能な行財政の健全化を実現することを目的としている。改革の背景は、少子高齢化への対応、公共施設の老朽化、デジタル化の急速な進展など、対処すべき課題が多くあることである。

昭和 50 年代の高度経済成長期に建設された公共施設の老朽化が深刻化する中、今後の人口減少や経済変化に適応できる体制整備が急務となっていた。

成果としては、5 年間で約 90 億円の財政的効果を生み出した。歳入改革による増収と歳出改革による経費削減、企業改革・団体改革を推進することで達成された。具体的には、公共施設の集約化・複合化、民間活力の活用、効率的な業務改革などが挙げられる。特に、就学前児童施設の認定こども園化や、老朽化施設の活用による新規収入の確保が進められた。同時に人口社会増が続いており、市民の住みやすさへの評価も向上している。これまでの改革成果を継続発展させつつ、さらなる飛躍を目指し、成長戦略を新たに盛り込んだ改定を行った。

(2) 京都府京田辺市

視察テーマ 京田辺クロスパーク(タナクロ)

① 視察概要

ア 京田辺市の概要

平成 9 年市制施行。人口約 7 万 5 千人、面積 42.9 km²。子育て世代の転入が多く、人口は微増傾向にある。一休寺で知られ、海老芋や玉露の産地でもある。

イ 説明員

- ・建設部 公園緑地課長 篠寄仁恵 氏
- ・指定管理者(東レ建設㈱)トレファーム事業推進室長)小倉久弥 氏

② 施設概要

市役所や保健センターなどの公共施設、商業施設が集積する立地に整備された公園。総面積 2.2ha。京都府農業総合研究所跡地を活用している。

ア 特徴

- ・Park-PFI 制度を活用した官民連携による公園整備・運営（京都府初）
- ・農福連携による障がい者就労の創出

イ コンセプト「農福連携をテーマに、緑と農に親しむ公園」

子どもから高齢者、障がいのある人までが交流できる緑の拠点として、体験や環境学習の場を提供するとともに、障がい者が公園の管理運営に関わり、将来の社会的自立に向けた就労訓練・支援の場として活用されている。

ウ 主な施設

管理棟、駐車場、多目的棟、産直市場棟、グリーンハウス、芝生広場、砂場、露地農園、プレーパーク

③ Park-PFI 制度について

平成 29 年の都市公園法改正により創設された公募設置管理制度。飲食店や売店などの収益施設（公募対象公園施設）から得られる収益を活用し、園路や広場などの特定公園施設の整備・維持管理を一体的に行う仕組みである。

【タナクロにおける施設区分】

- ・公募対象公園施設：産直市場棟、グリーンハウス、多目的棟
- ・特定公園施設：管理棟、芝生広場、砂場、プレーパーク、駐車場ほか

④ 行政内部の連携と PFI 事業者及び福祉施設との連携

ア 行政内部の連携

公園緑地課を中心に、福祉、障がい、子育て、教育分野の各部署が連携しコンセプトを検討。再任用の元部長がコーディネーター役を担ったことが、部局横断の連携に大きく寄与した。

イ PFI 事業者と福祉事業者の連携

障がい者の就労参画にあたり、市内就労支援事業所と PFI 事業者の間に調整機関として「一般社団法人 京田辺みんなの働くプロジェクト（みんプロ）」を設置。公園管理業務には、施設外就労と就労継続支援 B 型による業務があり、現在約 13 人が就労。今後は 20～40 人規模への拡大を目指している。一方で、業務内容と障がい特性とのマッチングが課題とされている。

⑤ 視察後の所感

みんプロとの連携、立位作業が可能なトレファームの導入、利用者とともにつくるプレーパークや多世代が交流できる砂場など、コンセプトが具体的な事業として丁寧に実装されている点が印象的であった。

また、公募対象施設の利用や、就労する障がい者との自然な交流など、事業間の相乗効果も期待できる。JA や地元農家の参画も始まっており、今後の展開に期待したい。